

文部科学大臣杯第16回全日本少年春季軟式野球大会
ENEOSTーナメント熊本県予選大会
(兼)第13回味岡旗少年軟式野球大会要項

1. 目的 健全なる少年達の育成と技術の錬磨並びに親睦を図ることを目的とする。
2. 主催 熊本県軟式野球連盟
3. 共催 熊本県中学校体育連盟
4. 主管 荒尾市軟式野球連盟、玉名市軟式野球連盟
5. 後援 荒尾市教育委員会、荒尾市体育協会
6. 会期 令和6年10月5(土)・12(土)・19日(土) 予備日13(日)・20日(日)
7. 会場 荒尾運動公園野球場・大牟田市延命球場・大津町民グラウンド
玉名市民運動公園桃田野球場・横島グラウンド・蛇ヶ谷野球場
8. 参加資格 (1)熊本県軟式野球連盟に登録しているチームであること
(2)支部予選代表又は支部推薦チームで、令和5年度熊本県軟式野球連盟で決定しているチーム数とする。(全32チーム)
(3)スポーツ保険に加入済みのチームであること
9. チーム編成 監督1名、コーチ2名以内、選手10名以上25名以内とする。
10. 競技規則 2024年公認野球規則、2024年競技者必携並びに別に定める特別規則を適用する。
11. 試合方法 (1)トーナメント方式とし各試合7イニングとする。
ただし、試合時間が1時間30分、準決勝、三位決定戦及び決勝戦においては2時間を経過した場合には新しいイニングには入らない。
(2)5回以降7点差の場合は得点差によるコールドゲームとする。
ただし優勝戦は5回以降10点差とする。
(3)7回又は制限時間が来ても同点の場合は、タイブレーク方式を最大2回まで行う。
それでも決着がつかないときは、出場選手9名の抽選で勝敗を決定する。
ただし、優勝戦は投手の投球制限を遵守のうえ、勝敗が決するまで行う。
(4)タイブレーク方式は継続打順で、前回の最終打者を一塁走者、その前の打者を二塁走者とする。すなわち、無死一・二塁の状態にして行う。
(5)全試合特別継続試合を適用することがある。
(6)降雨、暗黒などで7回までイニングが進まなくても5回を完了すれば試合は成立する。
(7)守備側及び攻撃側のタイムは、1試合に3回以内とする。タイブレーク戦は1イニングに1回とする。
守備側のタイム中に攻撃側は指示を与えることが出来るが、守備側のタイムより長引けば攻撃側も1回カウントされる
攻撃側のタイム中に守備側は指示を与えることが出来るが、攻撃側のタイムより長引けば守備側も1回カウントされる
(8)投手の投球制限については、2024年全日本軟式野球連盟の規定通りとする
1日100球で到達打者完了までとする。(ダブルヘッダー持ち越し可)
なお、特別継続試合で投球できる球数は、元の試合で投じた球数を引き継ぎ、残りの球数だけとする。

また、特別継続試合に勝利したチームの投手は、同日に行われる試合において1日の投球制限を超えない範囲で登板できる。

12. 学校行事との調整

学校行事については配慮するが、行事参加者を除いて10名以上の選手が試合に出場できる場合は日程調整を行わない。

13. 使用球 (公財)全日本軟式野球連盟公認球 ケンコーM号ボール

14. 審判 熊本県軟式野球連盟公認審判員

15. 参加申込 (1)出場資格を得たチームは参加申込書に所定事項を記入し、登録支部へ提出する。
(2)支部は記入内容を確認、所定事項を記入し9月24日(月)までに熊本県軟式野球連盟少年部事務局に参加申込書をメールにて送付する。
※少年部メールアドレス kumamoto-shounen@bun.bbq.jp
(3)参加申し込み後の変更追加は監督会議前日まで認める。

16. 参加料 15,000円 監督会議時に納入

17. 監督会議 下記のとおり行う。監督1名のみの参加とする。

- (1)日時 令和6年9月28日(土) 15時
(2)場所 水前寺共済会館 (熊本県中央区水前寺1-33-18)

18. 開会式 行わない

19. 表彰

- (1)熊本県連盟 優勝＝賞状・優勝旗 準優勝＝賞状・準優勝旗 3位＝賞状・楯
(2)味岡旗 優勝＝優勝旗 準優勝＝準優勝楯

20. 上位大会への出場推薦

- (1)優勝チーム 全国大会(令和7年3月、岡山県)に推薦
(2)準優勝チーム 九州少年軟式野球大会(11月9・10日、宮崎県)に推薦
(3)第3位チーム 九州中学生選抜軟式野球大会(令和7年3月、長崎県)に推薦